

ワークショップ①

評価規準を作ってみましょう

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	地域の課題を取り上げた探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けているとともに、課題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解している。	地域の課題を取り上げた探究的な学習の過程において、	地域の課題を取り上げた探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、自分の考えの特徴やよさに気づき、進んで取り組もうとしている。



ワークショップ②

モデレーション後に
考えた評価規準

ワークショップ①資料

第1の目標

(1)	(2)	(3)
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

知識及び技能	思考力,判断力,表現力等	学びに向かう力,人間性等
他教科等及び総合的な探究の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする。	探究の過程において発揮され、未知の条項において活用できるものとして身に付けられるようにする。	自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点を踏まえる。

ワークショップ①資料

探究活動の例

(課題の設定) ○○小学校では、放課後児童クラブに入れなかった小学生があふれている。待機児童を減らすために、高校生の私たちができることは何だろうか？

(情報の収集)

- ・○○小学校の放課後児童クラブの先生にインタビュー調査する。
- ・市役所で児童数に関する統計資料を入手する。

(整理・分析)

- ・インタビュー調査した結果を文章にまとめる。
- ・統計資料をグラフにする。
- ・待機児童数と受け入れ数との比較をする。



(まとめ・表現)

- ・プレゼンテーションを用いて、自分たちができる取組を提案する。